

第 108 回全国高等学校野球選手権大会（通称：夏の甲子園）
ベスト 16

8/5～23（兵庫県）

うえやま あつよし
上山 篤慶さん 履正社高校 2 年（江陽中出身）



小学 2 年生から三河内少年野球クラブ（現・野田川スターボーイズ）で野球を始め、中学では硬式野球チーム「京丹後リトルシニア」に所属し、関西選抜のメンバーとして国際大会に出場するなど活躍した上山さん。高校は「甲子園に出場したい」という思いから、大阪府の履正社高校へ進学

し、実力を磨いてきました。

今夏は 2 年生ながらエースに次ぐ投手としてチームを支え、大阪大会準決勝では先発を任せられ、9 回を投げ抜いて見事完封勝利を収めました。憧れの甲子園のマウンドに立ったのは 3 回戦。制球や守備の乱れから失点が重なり、「もっと投げたかったけど、悔しい結果になってしまった」と振り返ります。それでも、2 年生で経験した大舞台を糧に、「あと 2 回甲子園に出場するチャンスがあるので、自分の投球でチームを引っ張り、全国優勝を目指して頑張りたい」と力強く抱負を語ってくれました。

令和 8 年度全国高等学校総合体育大会
ヨット競技大会 セーリング競技
女子 420 級 出場

8/12～16（和歌山県）

もりがき あおば
森垣 青葉さん 宮津天橋高校 2 年（加悦中出身）



兄の姿を見て、高校からヨット競技を始めた森垣さん。インターハイ出場を決めてからは、微風時の艇の動かし方や帆の調整を工夫するなど、弱点の克服に取り組んできました。

インターハイでは高いレベルの選手たちと競い、「まだ工夫できることがあると感じました。大会で学んだことを生かし、来年はさらに良い成績を目指したい」と抱負を語ってくれました。

第 59 回全国高等学校定時制通信制
ソフトテニス大会 女子個人戦・団体戦 出場

7/31～8/2（東京都）

くら まりん
倉 茉凜さん 清新高校 3 年（橋立中出身）



中学生からソフトテニスを始め、3 年連続で全国大会出場を果たした倉さん。大会に向け、基礎練習やラリー、試合を意識した練習を重ね、ペアとの声かけやコミュニケーションも大切にしてきました。大会では緊張

しながらも、練習の成果を出し切ろうと最後までプレー。「悔しさもあるが、この経験をこれからの競技生活に生かしていきたい」と振り返ってくれました。

第 61 回全国高等学校定時制通信制陸上競技大会
男子 400m 8 位、男子 4×100 m リレー・男子
4×400 m リレー 出場

8/15・16（東京都）

やすだ ゆうま
安田 悠真さん 京都共栄学園高校 3 年（江陽中出身）



7 月の京都府大会の 400 m で優勝し、全国大会出場を手にした安田さん。全国大会では 400 m に加え、リレー 2 種目を含む 3 種目に出場しました。

中学校から陸上競技を始め、これまでの集大成として挑んだ全国大会を振り返り、「大きな舞台で緊張しましたが、目標の入賞が果たせた。練習をサポートしてくれた方々に感謝です」と語ってくれました。

全国高等学校定時制通信制体育大会
第 59 回卓球大会 男子団体 出場

8/4～6（東京都）

おおつき みひろ
大槻 幹紘さん 清新高校 1 年（橋立中出身）



兄の影響を受け、小学校 6 年生から卓球を始めた大槻さん。チームメイトとのコミュニケーションを大切にしながら練習を重ね、チャンスで得点できるような技術を磨いてきました。

初の全国大会では、緊張しながらも貴重な経験を積み、「他府県の選手の技術の高さを実感しました。さらに練習を重ね、来年は個人戦にも出場したい」と意気込みを語ってくれました。

全国に 熱い夏。 刻んだ、

いざ全国へ——。この夏、与謝野町の子どもたちが全国の舞台で熱い挑戦を繰り広げました。地元を離れて大きな夢を追いかける子、ふるさとで仲間とともに力を磨き続ける子。それぞれが目標に向かって努力を積み重ね、その先に全国への切符をつかみ取りました。華やかな結果の裏には、悔しさや葛藤を乗り越えた日々があります。今月号では、全国の舞台を経験した 9 人の子どもたちに、その挑戦や思い、そして未来への決意を語ってもらいました。

令和 8 年度全国高等学校総合体育大会ウエイトリフティング競技大会
男子 +94kg 級 スナッチ 150kg（1 位）・クリーン&ジャーク 180kg（1 位）・トータル 330kg（1 位）
7/31～8/3（滋賀県）

ながしま こうめい
長島 広明さん 宮津天橋高校 3 年（江陽中出身）

他を圧倒するパフォーマンスで 2 連覇 !!

高校 1 年春の全国選抜大会から高校 3 大タイトルを守り続けている長島さん。「必ず金メダルを取る」と挑んだインターハイでは、2 回目の試技でスナッチ、クリーン&ジャークともに自己記録タイを成功。最後の 3 回目の試技では、ともに高校新記録となるスナッチ 159kg、クリーン&ジャーク 194kg に挑戦しましたが、惜しくも成功には届きませんでした。

「1 本目をしっかり決めることができ、あとは自分の記録との戦いだった。秋の国民スポーツ大会、来年 2 月のジュニアオリンピックで高校新記録を出して世界ジュニアの基準標準記録を取りたい」と語り、さらなる高み

を目指します。

昨年には自身初の国際大会に出場、今年 5 月には高校生で唯一、全日本選手権大会に出場するなど、着実に経験を積んでいる長島さん。同競技で日本を代表する姉の和奏さんとともに五輪出場を目標に掲げる長島さんの、さらなる飛躍に期待が高まります。



第 79 回全国高等学校陸上競技対校選手権大会
男子走高跳 5 位

7/30～8/5（滋賀県）

まつばら しゅう
松原 志勇さん 福岡第一高校 2 年（江陽中出身）



中学 3 年時に走高跳で全国優勝を果たし、さらなる飛躍を目指して跳躍競技の強豪、福岡県の福岡第一高校へ進学した松原さん。

北九州地区予選会で 2 位となり、入賞を目標に挑んだインターハイでは、始めの 198cm を 3 回目の試技でクリア。その勢いのまま 201cm、自己記録となる 204cm も

成功させ、5 位入賞を果たしました。大会を振り返り、「試合中にうまく修正しながら自己ベストの更新と入賞を果たせましたが、目標の 207cm には届かなかったので悔しさも残りました」と話します。

初めての寮生活では、慣れない環境に戸惑うこともあったそうですが、「優しく接してくれて、今は毎日が楽しいです」と笑顔を見せます。今後は「今年中に 210cm を跳ぶことと、秋のジュニアオリンピックで優勝することが目標です。現状に満足せず、高校日本一を目指して頑張ります」と力強く抱負を語ってくれました。